

## 議会の視点はこうです！

### 新型コロナに備えて条例と補正予算で対応！

新型コロナウイルス感染症の影響が拡大する中、市議会5月臨時会、6月定例会では、収入の減少や離職された方々などへの様々な対応について、質疑を交わし、議会も必要であるとの判断のもと、以下、すべての施策を含む予算を可決しました。

1. 市税（固定資産税等）・都市計画税などの減額措置
2. 離職・収入減の方への家賃補助
3. オンライン授業へ向けての生徒1人1台端末整備
4. 特別給付金・子育て世帯への特別給付金支給
5. 新型コロナ対策予算確保に充てて欲しいとの思いから議員、市長、副市長及び教育長の報酬・給与の減額
6. 新型コロナウイルス感染症患者に対応した市立病院職員、消防職員等への手当創設
7. 新型コロナウイルス感染症対策にと寄せられた寄附のための基金創設
8. 緊急時の市役所職員分散勤務のための設備
9. 観光誘客、経済活動のために観光協会が実施するプレミアム付観光クーポン事業への補助
10. イベント中止等した事業者に対する入場料金等の払戻請求権を放棄した場合の寄附金控除

また、新型コロナウイルス感染症の影響で機材・資材等の輸送に遅れが生じ、令和元年度内に完了できなかった工事等があることに伴い、市の会計約3億1800万円を次年度に繰り越すことについても議会は了承しました。

### 令和3年度から全てのひとり親世帯が税控除の対象になります

今まで未婚のひとり親世帯は、税控除の対象となっていませんでしたが、税法改正により令和3年度の市県民税からは、婚姻歴の有無や性別に関わらず対象となります。

税控除が受けられる条件としては、ひとり親の合計所得金額が500万円以下であることや被扶養者の所得制限等があります。

議会としては、全てのひとり親世帯に対して公平な税制が担保されたと考えています。

### 【議選第1号】議会運営委員会委員の選任と委員長（佐野和彦議員）のコメント

6月定例会は、臨時議会を含めコロナ禍での4回目の議会で、今回からマスクの他フェイスシールドも着用可とし、発言しやすいよう配慮しました。

また、一般質問日程を会期後半にしましたが課題もあり難しさを感じています。今後は、災害時や感染症等の非常事態に対応できるよう、早急に議会BCP（事業継続計画）の策定に取り組んでいきます。



左から、植松健一委員、望月則男委員、若林志津子委員、◎佐野和彦委員長、村瀬旬委員、遠藤英明委員、○深澤竜介副委員長  
※齋藤和文委員は都合により欠席

### POINT 【ポイント】

議会運営委員会とは、議会の運営に関する事項や、議会の条例・規則に関する事項等を担当（協議）するための議員のみで構成される組織です。  
なお、委員会時、“議員”は“委員”と呼ばれます。